

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>

〒252-0321

相模原市 南区 相模台 7-7-1

TEL 042-742-3674

FAX 042-741-7991

学校長 門 倉 政 彦

平成29年11月30日



全国学力学習状況調査の結果から

今年度は、平成29年4月18日に6年生を対象に実施し、結果は8月28日に発表されています。この調査は子供たちに身につけてほしい学習内容や力が定着しているかを見るものです。本校は国語・算数ともに平均正答率が全国よりも低い結果でした。まずはこの結果と真摯に向き合い、全学年で学力向上をめざす取り組みを行っていきます。

◆ 全国学力・学習状況調査

平成19年度から、毎年、全国の小6・中3を対象に国語・算数(数学)について、主に知識・理解を問うA問題、知識の活用を問うB問題を出題(いずれも前学年までに学習した内容)。また、同時に児童生徒の質問紙で学習環境や生活習慣等も調査。

◆ 学力調査結果の状況

- 国語・算数それぞれの平均正答率は、全国と比べて下回っている。
- 知識理解・基礎基本の設問での正答率が低い。さらに、文章で回答する設問は全体的に正答率が低い。
- 設問毎に見ると全国より高い正答率の問題もあるが、全国平均より低い正答率の設問も多い。
- 制限時間内に回答し終えずに、無回答となる状況が見られた。
- 設問の趣旨や内容が理解できないことが多く見られた。



学力調査の結果から「5年生までの学習が定着していない、理解できていない」という事実が明らかになっています。学習は一つ

つの積み重ねです。知識習得も思考力も積み重ねで学力向上が図れます。

「わかったつもり」「何となくできた」でやり過ごしてはいないだろうか。

「漢字の読み・書き」に関する問題では、上記のように単なる漢字問題ではなく、「漢字を使う」＝「身に付いている」ことが試されています。すなわち繰り返し練習するだけでなく、「使う」ことで習熟を図る必要があるのです。

◆ A問題の正答率が低い

◆ 漢字を書くこと

①参加たいしょう(対象)	35%(42%)
②きぼう(希望)者	75%(80%)
③おいて(置いて)ある	72%(77%)

◆ 計算すること

①123×52	68%(85%)
②6+0.5×2	59%(67%)
③10.3+4	59%(67%)

※()括弧内は、全国平均正答率

◆ 漢字習得のコツ

- ☆慣れること→日記や作文等でどんどん使う
- ☆目にした漢字(看板やポスター、新聞や雑誌等)を読んでみる



◆ 学校で取り組むこと

- 朝自習の10分間に、計算・漢字練習のスキルや読書を行い、基礎・基本の定着を図る。
 - 授業の始めには、めあてをもち、終了時には「まとめ」「振り返り」を行い、その時間に学んだことやどんな考えをもったかなどを確認するようにする。
 - 教科書に出てくる言葉や用語を授業の中に取り入れる。例えば、算数では、「和・差・積・商…」などの用語を用いて授業を進める。
- 上記のようなことを始め、創意工夫しながら学力向上に向けて、コツコツと取り組んでいます。

◆ 保護者の方へのお願い

- ①テレビ、ゲーム等に費やす時間を減らすなどルールを決める。
- ②家庭内で学習する環境をつくる。
- ③学習する習慣を身につけさせる。
10分×学年(1年生はさらに+10分)以上、集中して学習に取り組ませる。
- ④学習用具が揃っているか、どんな学習をしているか話題にする。

学力向上を図るためには各学年の学習内容をしっかり身につけて積み重ねていくことが大切です。ぜひ、家庭のお力をお貸しください。そして、子供たちのよりよい成長のために、一緒に取り組んでいただけるとありがたいです。

